

# 鉄道ピクトリアル

2005年2月号 Vol.55 No.2 通巻No.757

<特集> 12系・14系座席客車

## ■表紙 12・14系を使用したかつての定期急行

……………真鍋裕司・伊藤俊郎

「天北」名寄 1987-11-1(真鍋) / 「だいせん」揖屋—東松江 1987-5-4(伊藤)

## ■カラー

### 特集：客車時代のアンカー (1～5ページ)

和田京太・渡邊裕太郎・岡本文彦・佐藤利生・砂田貴彦

……………小野啓一・浜村正弘・井上 敦・静 拓志・千代村智之

……………尾崎 渉・池田嘉晃・石原裕紀・進藤 匡・真鍋裕司

### 12・14系客車 懐かしの名場面 (6～8ページ)

……………瀬戸秀夫・浜村正弘・飯塚卓治・藤木正成

……………石原裕紀・佐藤利生・岡本文彦・川井一彦

民鉄で活躍する12系・14系客車……………花岡 誠・佐野嘉春ほか… 81

12・14系客車カラーバリエーション……………構成：藤田吾郎… 82

〔小田急電鉄50000形 / 名古屋鉄道3300系・3150系 / 岡山電  
気軌道「KURO」登場 / 東京モノレール羽田空港第2ビル〕 84～88  
〔延伸 / 京急 羽田空港駅第2旅客ターミナル口開設ほか〕

## ■グラフ

12・14系座席客車 活躍の頃……………構成：編集部… 41

12系・14系座席客車 形式集……………構成・解説：藤田吾郎… 46

トピック・フォト (各地・関東・中部・関西)…………… 89

京浜急行電鉄 最近の話題……………京急同趣会… 96

岐阜地区名鉄600V線の廃止に寄せて(2)

一昔前の名鉄揖斐線……………渡利 正彦…100

D51その一族—1115分の1の素顔—(69)……………構成：編集部…102

京王電鉄 貨車の新旧交代……………安楽 侃…104

## ■本文

今月の話題：12系・14系座席客車……………編集部… 9

12系・14系座席車のあゆみ……………岡田 誠… 10

私鉄へ行った12・14系客車……………服部 朗宏… 28

12系・14系客車 1970年前後における運転の軌跡

……………三宅 俊彦… 57

12系・14系座席客車 車歴表……………作成：藤田吾郎… 66

\*

鉄道の話題……………編集部… 80

JR東日本 交通博物館の施設および展示車両……………105

ライブチヒ、ハレの路面電車……………横山 真吾…106

回想 わたしの鉄道趣味史(2) バイブル役を果たした「半鋼製省線電車」

—鉄道少年基礎作り—……………中川 浩一…110

明治時代の大阪市電 天満橋について……………高山 禮蔵…114

書評(496)『新橋駅の考古学』……………和久田康雄…116

11月のメモ帳……………117

国産初の100%超低床LRVを開発……………118

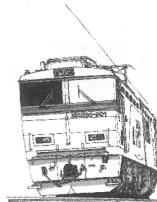
読者短信・情報ファイル……………119

後部車から……………123

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru

今月の話題



カット：山本茂樹

## 12系・14系座席客車

1960年代、国鉄における電車や気動車は、一般形から特急形まで新しい技術を駆使した新系列車両が続々と投入されていた。一方、客車については特急形として20系固定編成客車が1958(昭和33)年にデビューし、急行用としても10系列の軽量客車が1950年代後半に新製されたが、その後は寝台車等を除いて新形車両の投入は行われていなかった。これは、動力近代化を推進していた国鉄の方針として、電化、ディーゼル化による無煙化および動力分散化で輸送サービスの向上をめざしていたことが要因となっている。国鉄の客車在庫数は1957(昭和32)年11,508両であったが、国鉄第3次長期計画末期の1967(昭和42)年には9,483両まで減少し、10年間に約3倍に増強され在庫9,950両となった電車に旅客車トップの座を明け渡したのであった。

とはいえ、客車列車の利点は認識されており、とくに臨時列車への運用は客車が経済性からも得策であったため、輸送近代化の中、1969(昭和44)年に急行用の装備を持った12系客車が誕生、山陽・九州方面の臨時急行に使用されるようになった。1970(昭和45)年の大阪万博開催に伴う臨時列車の大増発に際して12系は集中的に増備され、1970(昭和45)年度までに3形式478両を新製、さらに1976(昭和51)年から2年度にわたり増備を再開し、最終的には603両が投入された。1972(昭和47)年度には特急用の14系客車も登場、3年度にわたり325両が新製され、当初は臨時特急に充当され活躍した。その後、両系列は定期急行等の運用に入ったり、お座敷車等に改造されたりという経過の後、今日では廃車により姿を見ることは少なくなりました。定期列車への運用は全国で数本を残すのみといった状況である。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI  
Oak Ochanomizu Bldg., Kanda Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan